

5:達成している 4:ほぼ達成している 3:どちらともいえない 2:取り組みを検討中 1:改善が必要

1. 教育の理念・目標	評価
1-1 理念・目的・育成人材像は定められているか	5
1-2 学校の特色は何か	5
1-3 理念に基づく教育が行われているか	5

<教育理念/教育方針>

<p><b>【教育理念】</b>                  「世界各国と日本との架け橋となり得る人材の育成」を教育理念とし、日本の文化・風習に触れ、お互いの国を理解し合い、世界平和の架け橋となることを目指す</p> <p><b>【教育方針】</b>                  1. 四技能をはじめとした日本語の基礎的能力の養成。                  2. 基礎から応用へ対応できる能力の養成。                  3. 実践の場でのコミュニケーション能力の養成。                  4. 進学や就職など、個別の目標達成に必要な学習指導。                  5. 正しい生きた日本語を習得し、実用レベルにまでに引き上げる。                  6. 日本語学習だけではなく、日本の文化や風習など日本社会への理解を深める。</p>
--

2. 学校運営	評価
2-1 運営方針は定められているか	5
2-2 事業計画は定められているか	5
2-3 運営組織や意思決定機能は確立され、効率的なものになっているか	5
2-4 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	5
2-5 危機管理体制は整備されているか	5

<現状・具体的な取り組み/課題>

<p>出席の IT 管理をすすめ、リアルタイムで出席率を把握できるようにしている。危機管理体制の構築を進め、体調の異変があればすぐに連絡を取れるよう、SNS を活用している。</p>
---

3. 教育活動	評価
3-1 カリキュラムが体系的に編成されているか、またその改善のための取り組みが行われているか	5
3-2 成績評価や進級、修了の判定基準は明確になっているか	5
3-3 各種日本語試験の認定率向上のための指導体制は整っているか	5

<現状・具体的な取り組み/課題>

カリキュラムはレベル別に体系的に編成されている。補助教材等も使いながら、進度や学習者の状況に応じて工夫するなど改善を行っている。到達目標は、日本で生活していくうえで必要な能力基準として、CEFRのB1以上を目標にしている。真正性のある教材を工夫し、実際の生活上のシーンに応じた、聞くこと、話すことの指導を心掛けている。日本語能力試験においても、能力に応じたカリキュラム編成を工夫している。中間試験、期末試験を前期・後期で行い、また日本語試験対策を行うなど、日本語力の向上を意識して取り組んでいる。

4. 学修成果	評価
4-1 学生の日本語能力の向上が図られているか	5
4-2 学生の日本語能力、文化理解は学校が定める到達目標に達しているか	5
4-3 学生の進路希望を適切に把握しているか	5

<現状・具体的な取り組み/課題>

日々の授業だけではなく、毎日の自宅学習を習慣づけるよう指導している。学生それぞれの目標に応じ、能力に見合った指導が行われ、希望の進路へ進学している。入学時及び在学中は、アンケートを行い希望の進路や生活上の相談を把握し、情報の共有を行っている。

5. 学校運営	評価
5-1 進学・就職指導に関する体制は整備され、有効に機能しているか	5
5-2 学生の相談に関する体制は整備され、有効に機能しているか	5
5-3 学生の心身の健康管理・事故・怪我サポートを担う体制があり、有効に機能しているか	5
5-4 学生の生活環境への支援は行われているか	5
5-5 卒業生への支援体制はあるか	5

<現状・具体的な取り組み/課題>

学生にアンケートを実施し進学・就職希望を確認しオープンキャンパスへの参加や 専門学校への問い合わせなどを適宜行っている。欠席があった場合、心身の健康管理についての確認や病気や怪我などがある場合は、病院への付き添いなどサポートを行っている。  
卒業生から問い合わせにも積極的に応じて支援をしている。

6. 在籍管理と生活指導	評価
6-1 入国・在留関係の管理・指導と支援が適切に行われているか	5
6-2 日本社会を理解するための支援が適切に行われているか	5
6-3 我が国の法令を遵守させる指導を行っているか	5
6-4 常に最新の学生情報を把握しているか	5

<現状・具体的な取り組み/課題>

入学オリエンテーションで、入国・在留関係の管理、指導、日本社会を理解するための支援、法令遵守の指導を行っている。また、常に最新の学生情報を把握するため、アンケートを行い、学生情報の確認を行っている。

7. 学生の募集と受け入れ	評価
7-1 学生の受入方針は定められているか	5
7-2 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	5
7-3 入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか	5
7-4 適正な定員設定および在籍者数になっているか	5

<現状・具体的な取り組み/課題>

ホームページで最新の募集要項等が確認でき、問い合わせに対しても想定する日本留学志願者の理解できる言語で行うよう努めている。入学選考は、書類選考、面接を行い適正かつ公平な基準に基づき行っている。

8. 財務	評価
8-1 中長期的に学校の財政基盤は安定しているといえるか	5
8-2 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	5
8-3 財務について会計監査が適正に行われているか	5

<現状・具体的な取り組み/課題>

コロナ禍以降幅広く、留学生を受け入れており財務基盤の安定している。会計処理は適切に行っており、税理士による会計検査も毎年行われている。

9. 法令等の遵守	評価
9-1 法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	5
9-2 自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	5
9-3 関係省庁への定期報告を実施しているか	5

<現状・具体的な取り組み/課題>

法令、設置基準等の遵守と適正な運営を行い、問題点が見つかった場合は、教職員で情報を共有し速やかに改善を図る努力をする。

10. 社会貢献	評価
10-1 学生ボランティア活動を奨励・支援しているか	3

<現状・具体的な取り組み/課題>

市のボランティア活動や市の交流イベントがある場合学生に参加を促している。今後、教職員とも相談しさらに参加を拡大させていきたい。